

48 都会と田舎の「お見合い」を実現！

【き】 都会と田舎の交流拠点をつくろう

平成15年度から、阪神南地域ビジョン委員会の「ひとものづくりグループ」との交流が始まりました。その中から、協力しあって都会と田舎の交流拠点をつくろうという活動が生まれました。

【概】 委員同士の交流から、地域の団体同士の交流へ

はじめは委員同士がお互いの地域を訪れて交流していました。やがてそれがきっかけで知り合った地域の団体同士の交流が生まれました。

それに伴って、私たちの活動が、自分たちが都会の人たちと交流することから、都会の人たちと田舎の人たちの交流をサポートすることへと変わっていきました。

そのようなコーディネーターとしての活動のほか、丹波の名木巡りルートマップ作成など、都会の人たちに地域のPRをする活動をしています。

【成】 丹波の将来像「都会に近い田舎の良さを活かす地域」に向けた大きな成果

私たちの活動の目的は、丹波の将来像「都会に近い田舎の良さを活かす地域」の実現をめざすことです。コーディネーターとして活動し、多くの団体とつながり、また目的を共有できたことは、その実現に向けた大きな成果です。

【夢】 都会の人たちと田舎の人たちが友達になれるように

活動を通じて感じたことは、都会の人たちと田舎の人たちが、もっとお互いのことをよく知る必要があるということです。私たちが知っている以外にも、さまざまな都会と田舎の交流の試みがあったと思いますが、その中には成功例もあれば失敗例もあったと思います。そのような情報を集め、交流を望む人たちに提供できればと考えています。



団体間の意見交換

丹波地域ビジョン委員会
都会に近い田舎分科会活用グループ

代表者氏名：足立徳次
活動地域：丹波地域
事務所等：丹波市柏原町柏原688
電話番号：0795-72-0500
FAX番号：0795-72-3077
ホームページ：<http://web.pref.hyogo.jp/tamba/>

ともに取り
組んだ団体等

神楽の郷

あま21まちづくり協議会

丹波の「神楽の郷」と尼崎の「あま21まちづくり協議会」が交流のモデルケースになりました。両団体とも、私たちと同じ思いのもと、都会と田舎の交流促進をめざして活動しています。



「おまかせ」することで交流が活発に

「神楽の郷」と「あま21まちづくり協議会」との交流を支援するにあたって、どのようなスタンスで実施するかについて悩みました。両団体のご意見を伺いながら活動を進めていく中で、私たちの思いを語るよりもまず団体同士におまかせすることが大事だということが分かりました。そうすることによって、かえって団体から信頼を得ることができました。それ以来、自分たちの立場を「都会の団体と田舎の団体のお見合いを企画する」というふうに考えています。結婚するかどうか、どんな結婚生活を送るかはその団体さん次第だと考えています。



まずやってみることが大事です

活動をはじめて間もなく、阪神南地域ビジョン委員との交流の一環で、尼崎で特産物の販売を行いました。それは急きょ決まったイベントで、準備期間も一週間もない、採算のめども立たない、経験もノウハウも何もないという中で行いました。

その後、ある機会に大阪の人たちとの交流会に出かけたのですが、そこでたまたまその尼崎で販売会をしたときに知り合った方と再会し、縁が深まったということがありました。

地域づくり活動の世界は、広いようで狭いものです。見通しが立たないことでもとにかく首を突っ込んで、人とのつながりをつくっておくと、それが後になって生きてくるということはよくあります。

求ム!

ともに活動していただける方を募集しています。趣旨に賛同していただける方なら、どなたでもお待ちしております。ご連絡ください。



尼崎潮江での交流イベント

読者の皆さんへのメッセージ

これからも、田舎だからできること、田舎だからあるものを見つけ出し、田舎に自信を持って田舎と都会の交流を進めていきたいと思っています。応援よろしくをお願いします。